

発 言 通 告 書 要 旨 (1枚目/全3枚)

氏 名 若林 高

発言番号	発言事項及び発言要旨	備 考
1 (1)	<p>フッ化物洗口について 予防効果のデータの提示について 令和6年度2学期から小学校で始まり、現在は保育園の年中以降でも実施されている。日本歯科医師会や厚生労働省をはじめ多くの専門機関が、生涯にわたって歯に作用させることが有効であると推奨しており、市内での予防の効果を示すデータは提示されるべきであると考えます。 小学校及び保育園におけるフッ化物洗口による虫歯予防の効果について明らかにせよ。</p>	
(2)	<p>食後の歯磨きについて 小学校での歯磨きがコロナ禍で中止されていたが、現在は、全小学校で再開されていると聞いている。現状はどうなっているのか、保育園も含めて示せ。</p>	
(3)	<p>予算について 来年度の学校でのフッ化物洗口の予算が、今年度の 262 万 5,000 円から 144 万 7,000 円に減額されているが、保育園での予算がほとんど横ばいなのに対して、減額した理由を示せ。 また、私自身は食後の歯磨きが有効であると考えており、元教員の方からも実際に効果があったと聞いている。令和6年6月定例会での当時の教育委員会事務局長の答弁にも、「フッ化物洗口は、各家庭で実施できるものであり、学校本来の業務ではなく教職員には御負担をおかけすることになるため、学校での実施は苦渋の決断になる」、「なるべく教職員の負担を軽減するために、週1回法や薄めずにそのまま使える洗口液の使用をはじめ、これまで教職員が行っていた業務を外部委託するなど、業務の総量が増えないように努めている」とあったように、来年度のフッ化物洗口の予算については見直しが必要であると考えます。 山田新市長体制で引き継いだ、逼迫した財政状況の中では、フッ化物洗口事業の効果・コスト・教職員の負担を考慮し、まずは食後の歯磨きの有効性を検討して、今後は希望者に補助を出す事業に転換すべきであると考えます。食後に歯磨きを実施するという以前の体制に戻すほうが、身の丈に合った健全な財政運営と歳出予算の圧縮になると考えるが、所見を問う。</p>	

発 言 通 告 書 要 旨 (2枚目/全3枚)

氏 名 若林 高

発言番号	発言事項及び発言要旨	備 考
2	<p>PFAS検出問題について</p> <p>2月中旬に、白山市にある化学メーカー工場の敷地内にある地下水から、国の指針値のおよそ2,000倍の有機フッ素化合物PFASとPFOAが検出され、地元住民からは健康被害の調査を求める声が相次いだ。</p> <p>令和6年12月定例会での水道水のPFASの水質検査についての質問に対する答弁では、「本市において、市内のフッ化物を取り扱う企業やその処理の有無については把握していない」とあったが、白山市における問題の発生を踏まえて、市内の状況を把握することが必須であり、より市民の安心・安全につながると考えるが、所見を問う。</p>	
3	<p>(1)</p> <p>県水供給停止に鑑みて 九谷ダム送水停止時の対応について</p> <p>去る2月10日の県水供給停止に鑑みて、もし九谷ダムの送水が停止した場合を想定すると、県水を市内全域に送水することができないが、その場合の対応についてはどのような想定をしているのか、所見を問う。</p>	
	<p>(2)</p> <p>代替水源の確保について</p> <p>2月24日の加賀市防災会議における議案第1号加賀市地域防災計画の修正についてで、「市は、代替水源（生活用水）として井戸水、河川水及び湧水等の確保に努める」という文言が追加されたが、市はどこまで代替水源を把握しているのか。</p> <p>また、市民への周知をどのように行うのか、水源の管理は誰が行うのかについても、併せて問う。</p>	
4	<p>クリアランス金属の再利用について</p> <p>福井県は2月18日に、原子力発電所の解体に伴い発生したクリアランス金属を加工した鉄筋が、県内2か所で行われている橋梁工事の建設資材に使用されたと発表したが、今後、このような動きの拡大が懸念される。</p> <p>加賀市としては、市民の安心・安全も考慮してクリアランス金属の再利用は行うべきではないと考えるが、所見を問う。</p>	

発 言 通 告 書 要 旨 (3枚目/全3枚)

氏 名 若林 高

発言番号	発言事項及び発言要旨		備 考
5	(1)	<p>大聖寺実業高校との意見交換会での意見について 遊ぶ場所やどの年代も楽しめる施設について 夏頃に全ての工事が完了する加賀温泉駅前広場にオープン 予定の加賀温泉駅全天候型広場施設を利用することで、遊ぶ場 所やどの世代も楽しめる施設・コミュニティーの場所になり得 ると思うが、所見を問う。</p>	
	(2)	<p>防災について ペット同伴マニュアルを作成し、ペット避難所を設置するとい う意見や、ペット同伴の避難訓練を実施するという意見があ り、これらのことは令和6年能登半島地震を教訓に、今後必須 であると考えているが、所見を問う。 また、障がいのある方、医療的ケアが必要な当事者、当事者 家族等の個別避難計画を早急に作成すべきであると考えているが、 周知を含めた進捗状況を示せ。</p>	
6		<p>飼い主のいない猫の不妊・去勢手術助成事業について 雌猫の不妊手術の助成単価の増額によるボランティア活動 の負担軽減はありがたいことだと考える。一方、桜猫としてリ リースされた後の餌やりへの住民理解や周知、多頭飼育崩壊の いち早い把握、場合によっては所有権放棄のいち早い対応も、 共に必要なことであると考えているが、所見を問う。</p>	